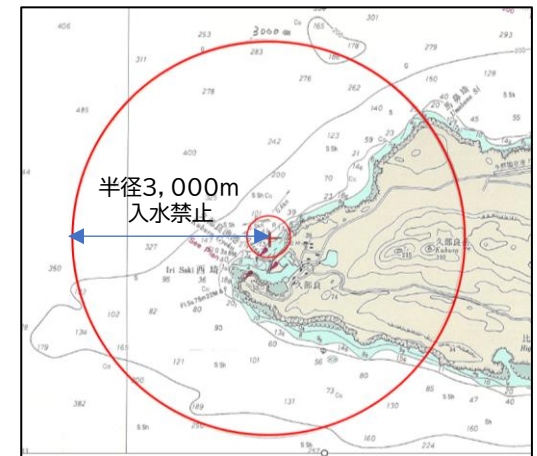
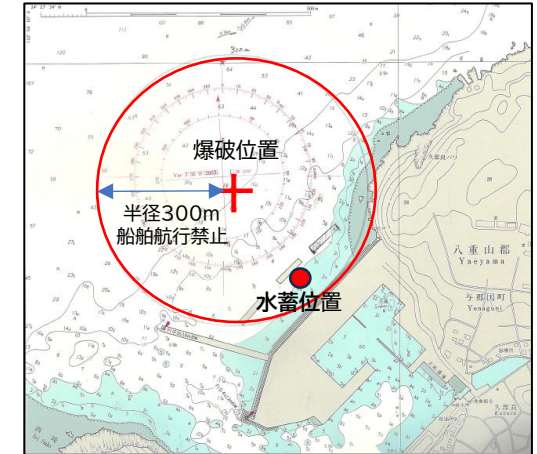


## 1 不発弾の概要について

- (1) 令和8年6月までに確認されている不発弾は22発です。  
※発見場所はヌルガン沖で、旧日本海軍の250kg爆弾です。
- (2) 令和8年6月8日に水中爆破により4発の処理を完了(残り18発)しました。
- (3) 令和8年6月11日現在、2発を水蓄保管(右図参照)しています。

## 2 今後の処理について

- (1) 令和9年以降も逐次、処理(水中爆破処分)を継続します。  
※処分には今後数年を要する見込みです。
- (2) 処理は、海上自衛隊 佐世保地方隊 沖縄基地隊に依頼し、  
水陸両用戦機雷戦群 第6機雷戦隊 沖縄水中処分隊が、実施します。
  - 今後も水中爆破処分位置に変更はありません。
  - 現地対策本部を西崎灯台隣接地に設置します。
  - 処理時は、入水及び船舶航行禁止区域を設定します。
    - ◇ 爆破位置から半径3,000mを入水禁止にします。
    - ◇ 爆破位置から半径300mを船舶航行禁止にします。



## 3 今後の予定について

- (1) 海上自衛隊による調査等は継続します。(海上自衛隊計画)  
※調査・作業の進捗状況により水蓄弾数が増える見込みです。
- (2) 次回の処理予定: 令和9年6月初旬に4発の処理を予定しています。